

---

(後期) 1～4年次・選択

---

**【概要・目標】**

心理学は教育・医療・福祉の対人援助職に必須であり、例えば社会福祉士は「心理学理論と心理的支援」という科目を必ず受講している。本学医学部でも「心理学」は必修である。従って、他職種連携を目指すためには必要な素養である。今年度はゼミナール形式で、卒業後のキャリアアップを見据えた知識習得のための心理学概論書の講読を行う。

**【授業内容のスケジュール】**

- 1) 心理学の生い立ち(序章)
- 2) 心の生物学的基盤(第2章)
- 3) 意識と二重路線の心(第3章)
- 4) 生得要因、獲得要因、人間の多様性(第4章)
- 5) 生涯を通じての発達(第5章)
- 6) 感覚・知覚：(第6章)
- 7) 学習(第7章)
- 8) 記憶(第8章)
- 9) 思考と言語(第9章)
- 10) 知能(第10章)
- 11) 動機づけと仕事(第11章)
- 12) 情動とストレスと健康(第12章)
- 13) パーソナリティ(第13章)
- 14) 精神疾患(第15章)
- 15) セラピー(第16章)

**【評価】**

●受講生は「予習・復習ペーパー」(1通当たり12点満点)を10通提出し、そのうち上位9通の合計(108点満点)が絶対評価される。100点を超過した分は切り捨てとなる。9通未満の場合は不合格となる。提出する回は自身で選ぶことになるが、その次の回で採点済みを受け取らなければ無効となる。

※今年度は再試験の実施はない。最終的に不合格になった場合、追加課題はない。

●「予習・復習ペーパー」は授業前のリーディングで関心を持ったことを記述し、授業後にその関心がどのように展開されたかを記すペーパー課題である。予習と復習それぞれに対してA4サイズ用紙1ページのみに10-12ポイントの文字で1000文字以上の記述が必要である。ディスカッション不参加の場合は、無効となる。第1回の授業もこの課題の対象となる。

**【教科書】**

マイヤーズ(著)村上郁也(訳)「マイヤーズ心理学 カラー版」西村書店 2015

※必携である。本体9,500円と高価であるが、自学自習に適しているため、キャリアアップの“投資対象”として悪くはない。尚、第14章は「人間関係論」の内容と重複している。

**【推薦参考図書】**

第1回配布予定の授業進行用シラバスを参照のこと。

**【その他】**

授業に関する質問などは、「オフィスアワー」時間帯(研究室ドアに掲示)でしか対応できない。

---

**(前期) 1～4年次・選択**

---

**【概要・目標】**

この講義では、哲学のうちで「倫理」と呼ばれる分野を扱います。わたしたちはふつう、よく生きたいと望んでいます。しかし、「よく生きる」とは、そもそもどういうことなのでしょう。か。「幸福」であることでしょうか？では、「幸福」とはどのようなことなのでしょう。か？また、自分の「幸福」と社会全体の正義との関係は？以上のような問題を考えるために、授業では、様々な倫理的な思考法、学説を紹介するとともに、具体的な状況を設定するので、その場合に実際にどのように考え行動するかを自分なりに考えてもらいたいと思います。

**【授業内容・スケジュール】**

1. イントロダクション
2. 倫理と文化相対主義（善悪は文化によって異なるか）
3. 倫理と文化相対主義（文化による葬儀の形式や生命観の相違）
4. 倫理と文化相対主義（文化横断的な価値観の可能性）
5. 功利主義の考え方（善とは「最大多数の最大幸福」を目指すこと）
6. 功利主義の考え方（安楽死について）
7. 功利主義の考え方（動物の権利について）
8. カントの義務の倫理（善とは幸福を目指すことではなく義務を果たすこと）
9. カントの義務の倫理（自殺はどのようにして道徳的に誤りか）
10. 社会契約の理論（社会の成立は人々の契約による：古典的社会契約の理論）
11. 社会契約の理論（ロールズの「無知のヴェール」と「正義」：現代の社会契約の理論）
12. 徳の倫理（倫理的であるとはある種の性格（＝徳）をもっていること）
13. ケアの倫理（善とはケアしケアされる関係にあること）
14. 徳の倫理・ケアの倫理の特徴（行為か性格か・自律か依存か）
15. まとめ

**【評価】**

試験（90%）、授業への参加（ミニレポートを含む）（10%）

**【教科書】**

プリントを配布します。

**【推薦参考図書】**

ジェームズ・レイチェルズ『現実をみつめる道徳哲学』、古牧・次田訳、晃洋書房、2003年  
マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう：いまを生き延びるための哲学』、鬼澤忍訳、早川書房、2010年

**【その他】**

メールアドレス [mappy0905@hotmail.co.jp](mailto:mappy0905@hotmail.co.jp)

## (前期) 1～4年次・選択

## 【概要・目標】

保健看護職には、相手の話していることを十分理解し、自らの意見を分かりやすく述べたり、相手を納得させたりするコミュニケーション能力が求められる。近年、大学で文学作品に触れる機会は少なくなっているが、作品を解釈するには表面的な読みだけでなく、作家・登場人物の考えや感情、時代背景、文化などのあらゆる側面から考察する必要があるため、文学は有効な教材となりうる。

本講義では、20世紀初頭から現在に至る6名の作家による小説や短編を通して、クリティカル・シンキング力を養うとともに、アメリカ文学の魅力に迫る。

## 【授業内容・スケジュール】

- 1) オリエンテーション (授業の概要、受講上の注意点など)
- 2) Chapter 1: William Faulkner, "A Rose for Emily" (I)
- 3) Chapter 2: William Faulkner, "A Rose for Emily" (II)
- 4) Chapter 3: Ernest Hemingway, "The Short Happy Life of Francis Macomber"
- 5) Chapter 4: Ernest Hemingway, *The Old Man and the Sea*
- 6) Chapter 5: John Steinbeck, *Of Mice and Men* (I)
- 7) Chapter 6: John Steinbeck, *Of Mice and Men* (II)
- 8) Chapter 7: Saul Bellow, *Seize the Day* (I)
- 9) Chapter 8: Saul Bellow, *Seize the Day* (II)
- 10) Chapter 9: Hisaye Yamamoto, "Seventeen Syllables" (I)
- 11) Chapter 10: Hisaye Yamamoto, "Seventeen Syllables" (II)
- 12) Chapter 11: Leslie Marmon Silko, *Ceremony* (I)
- 13) Chapter 12: Leslie Marmon Silko, *Ceremony* (II)
- 14) 総まとめ
- 15) 目標到達度確認

## 【評価】

試験 (60%)、レポート (20%)、小テスト (0%)、発表 (0%)、提出物 (0%)、出席状況 (10%)、参加態度 (10%)、その他 (0%)

## 【教科書】

早瀬博範, 江頭理江. *Let's Learn English from American Literature II*. 英宝社, 2015.

## 【推薦参考図書】

適宜紹介する

## 【その他】

全授業回数の3分の1以上の欠席は失格、遅刻・早退は2回で欠席1回分とカウントする。毎回必ず辞書(電子辞書可)を持参すること。なおスマートフォンや携帯電話の使用は認めず、辞書なしの受講は欠席とみなすので注意すること。E-mail: msando@wakayama-med.ac.jp

---

**(前期) 1～4年次・選択**

---

**【概要・目標】**

わたしたちは日常的に、あまり意識することなく、様々な物事を比較・分類し、線引きを行うことで秩序を構築しながら暮らしている。本講義では、我々を含め、世界の様々な地域で暮らす人々が、分類や線引きを行うことで「文化」を作り出していること、またその分類や線引きが、時代とともに不明瞭になったり、変化したりしうることを明らかにする。具体的には、ジェンダー、人間の生死やライフサイクル、人格の問題を取り上げる。それを通じて様々な線引きのあり方を知り、身近な出来事をより抽象的なレベルで考える訓練を行う。

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) イントロダクション：文化・分類・境界
- 2) きたなさの正体 (1)：分類と秩序
- 3) きたなさの正体 (2)：分類と境界
- 4) 人間のライフサイクル：人の一生と通過儀礼
- 5) 人間の生 (1)：妊娠という経験
- 6) 人間の生 (2)：出産という経験
- 7) 人間の死 (1)：伝統的な生と死
- 8) 人間の死 (2)：現代における生と死
- 9) 身体は誰のものか (1)：人格のありか
- 10) 身体は誰のものか (2)：臓器移植から考える
- 11) 呪術と科学 (1)：藁人形は非科学的？
- 12) 呪術と科学 (2)：呪術のリアリティ
- 13) 男と女 (1)：セックスとジェンダー
- 14) 男と女 (2)：境界に生きる人々
- 15) まとめ

**【評価】**

平常点 (50 点)、レポート (50 点) で総合的に評価する。平常点は授業への参加態度、授業毎に提出する小レポートにより評価する。また、レポートについては、講義で扱った抽象的なテーマについて、身近な具体的な事柄と結びつけて論述してもらい、その内容により評価する。

**【教科書】**

授業ごとにプリント・資料などを配布する

**【推薦参考図書】**

波平恵美子編『文化人類学—カレッジ版』第3版, 医学書院, 2011年.  
浮ヶ谷幸代著『身体と境界の人類学』春風社, 2010年.

**【その他】**

オフィスアワーはもうけないが、質問などは各授業後に随時受けつける。

---

(前期) 1～4年次・選択

---

**【概要・目標】**

社会的に問題となっている、いじめ・不登校・非行・キレる子・障害児などの子どもの問題、児童虐待・DV・離婚などの家族内の問題及び中高年のうつ・自殺の問題を通して、現代社会における家族問題を探る。このような問題に対して関係機関や地域との連携の中で実際的な支援のあり方を学ぶことにより、問題や課題を抱えた家族への医療人としての臨床的な対応の仕方を身につけることを目標とする。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 家族とは何か (家族の定義、家族の意味)
- 2) 家族の変遷
- 3) 発達課題から見た家族の役割
- 4) いじめと家族問題
- 5) 不登校と家族問題
- 6) 情動的問題を抱える児童と家族問題
- 7) 児童虐待と家族問題(理論編)
- 8) 児童虐待と家族問題(事例編)
- 9) 障害児と家族問題
- 10) 離婚と家族問題
- 11) 中高年のうつ・自殺と家族問題
- 12) 家族問題を支える制度や関係機関
- 13) 家族問題を支援する連携のあり方
- 14) グループワーク
- 15) まとめと振り返り

---

**【評価】**

試験 (70%)、レポート (10%)、小テスト (0%)、発表 (0%)、提出物 (0%)、出席状況 (10%)、参加態度 (10%)、その他 (0%)

---

**【教科書】**

教科書の代わりに詳しいレジュメを配ります。

---

**【推薦参考図書】**

家族援助論 柏女霊峰+山縣文治編 ミネルヴァ書房

---

**【その他】**

メールアドレス kuwahara2185@yahoo.co.jp

(前期) 1～4年次・選択

【概要・目標】

衣・食・住、空気や水、騒音などの物理的環境、廃棄物などの身近な生活環境と、個人や集団の健康との関わりを概説する。また、生化学的な側面から外部環境が変化した際のヒトの適応を概説する。また、健康で豊かな生活を確保するために衣・食・住などの問題について、自然科学的視点のみならず、社会経済的視点も含めて指摘し、さらには、健康障害を予防する対策を家族・患者などに指導できる能力を養う。

【授業内容のスケジュール】

(担当)

1) 生活環境と健康 (その1: 大気の正常成分)	森岡
2) 生活環境の健康 (その2: 大気汚染物質)	森岡
3) 人体の組成と栄養素	太田
4) 酵素の構造と機能	太田
5) 代謝経路とその調節 (その1)	太田
6) 代謝経路とその調節 (その2)	太田
7) 遺伝子の構造と機能	太田
8) 生活環境と健康 (その3: 水)	森岡
9) 生活環境と健康 (その4: 水の浄化方法)	森岡
10) 生活環境と健康 (その5: 騒音・振動)	森岡
11) 生活環境と健康 (その6: 放射線)	森岡
12) 生活環境と健康 (その7: 住居)	森岡
13) 生活環境と健康 (その8: 廃棄物)	森岡
14) 環境衛生検査、生体情報の観察などの実習 (その1)	森岡
15) 環境衛生検査、生体情報の観察などの実習 (その2)	森岡

【評価】

講義を学生との対話形式で進めていくので、受講者は主体的に課題に取り組むように期待する。評価方法は、試験 (80%)、レポート (10%)、小テスト (0%)、発表 (0%)、提出物 (0%)、出席状況 (0%)、参加態度 (10%)、その他 (0%)

【教科書】

特になし

【推薦参考図書】

岸玲子、古野純典、他 編「NEW予防医学・公衆衛生学 改訂第3版」南江堂 2012

武田眞太郎、宮下和久 著「公衆衛生学 四訂版」培風館 2015

石黒伊三雄 監修「わかりやすい生化学 第5版 疾病と代謝・栄養の理解のために」

ヌーヴェルヒロカワ 2016

---

(後期) 1～4年次・選択

---

**【概要・目標】**

グローバル化の進展のなか、世界の経済は大きな転換期を迎えています。そのため医療関係の仕事に就く若者も、生活や人生の安定のために、経済の基礎を学んでおくことは大切です。

この講義では、「アベノミクス」・「お金」・「豊かさ」・「地方活性化」・「グローバル化」などをテーマに、みなさんの将来を豊かなものにするための経済の基礎を学びたいと思います。

また、この講義では写真や動画などビジュアル資料もたくさん使い、楽しくわかりやすくなるような工夫もしたいと思います。積極的な受講をお待ちしています。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 和歌山県を元気にする経済学
- 2) 「経済成長」と「個人の成長」の関係
- 3) なぜ日本が途上国や危機国を助けるのか
- 4) 「医療」と「お金」の関係：より良い医療制度・より良いQOL
- 5) 経済が発展するための条件
- 6) 好ましい「グローバル化」について考える
- 7) 東京都などの大都市と、和歌山県などの地方都市：地方都市は幸せだ
- 8) 価格が変化するメカニズム：Amazon や楽天ショッピングなどの分析
- 9) 自由で公正な競争により経済は発展する：政府と企業の力学
- 10) 医療保険システムの国際比較：やっぱり日本は恵まれている
- 11) DVD観賞
- 12) 経済成長の光と影：豊かになる者、貧しくなる者
- 13) 日本のエネルギー政策：なぜ原子力発電所が必要だったのか
- 14) 「リーマン・ショック」から復活したアメリカ・日本
- 15) まとめ

※状況に応じて、新たなトピックスをくわえるなど、一部変更することもあります

---

**【評価】**

授業への参加態度(50%)、試験(50%)で評価します。

---

**【教科書】**

指定しません。毎回資料を配布する予定です。

---

**【推薦参考図書】**

講義のなかで随時紹介します。

---

**【その他】**

質問・相談は、授業後でもメール(yanata@eco.wakayama-u.ac.jp)でも構いません。

---

---

(後期) 1～4年次・選択

---

**【概要・目標】**

生活の中で普通に生じる法的問題を取りあげて法を身近に考え、日本国憲法を中心とする法の理解とそのために必要な基本的事項を習得し、権利の重要性を理解するとともに、法的思考力を身につけることを目標とする。

日本国憲法を中心とする法を、社会統制のひとつとして生きた社会の関連の中でとらえる。そのために、法を抽象的にではなく、具体的な問題に則して重点的に把握し、法学を孤立した体系ではなく、他の社会科学と関連させて理解する。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 法を学ぶ意義
  - 2) 日本国憲法の基礎、人権総論
  - 3) 幸福追求権  
自己決定権とインフォームド・コンセント、ノーマライゼーション、個人情報の保護
  - 4) 法の下での平等、婚姻制度と憲法、相続制度と憲法
  - 5) 思想・良心の自由、学問の自由、信教の自由と政教分離
  - 6) 表現の自由
  - 7) 経済的自由
  - 8) 人身の自由 (1)  
罪刑法定主義、犯罪と法、医師・薬剤師・助産師・看護師・保健師の守秘義務、医療と刑法
  - 9) 人身の自由 (2)
  - 10) 社会権  
生存権、教育を受ける権利、労働基本権
  - 11) 選挙と参政権、国会
  - 12) 内閣
  - 13) 裁判所、訴訟の仕組み (医療訴訟を題材に)
  - 14) 地方自治
  - 15) 授業のまとめ
- 

**【評価】**

期末試験(筆答)100%により評価する。授業時間数の3分の2以上出席した者でなければ試験を受けることができない。

---

**【教科書】**

『プレステップ憲法 (第2版)』、駒村圭吾編著、弘文堂  
『法学六法 '21』、編集代表池田真朗ほか、信山社

---

**【推薦参考図書】**

講義の中で紹介します。

---

**【その他】**

教科書、六法は必ず持参すること。



## (前期) 1～4年次・選択

## 【概要・目標】

身体ケアの場面や検査・治療・処置の場面では、物理の原理を用いる事例が多くある。このような物理現象の背景にある基礎的な理論や考え方を身につけて理解すると、看護におけるさまざまな疑問の解決や、今後の改善・改良につなげることができる。本講義では、看護を物理的な視点で捉え、具体的な事例を通して基礎的な考え方や知識の習得を目標とする。

## 【授業内容・スケジュール】

1. 移動動作に必要な力
2. 体位変換に役立つトルク
3. 安定・不安定（重心の話）、撃力と骨折
4. 牽引（力のつりあい）、作用・反作用、摩擦
5. 温度、体熱の産生と喪失
6. 看護における電気、サイフォンの原理
7. 圧力、ネブライザ
8. 血圧、低圧持続吸引装置の原理
9. 点滴や輸血（液体の落下速度）、比重計（浮力の話）
10. オートクレーブ（加圧蒸気滅菌装置）、酸・アルカリとpH
11. 物質の溶け方、浸透圧
12. 物の見えるしくみ（目とレンズ）
13. ファイバースコープの原理
14. 紫外線、放射線
15. 音波、心拍検査

## 【評価】

筆記試験（80%）と授業への参加態度（20%）で成績を評価する。

## 【教科書】

平田雅子著「完全版 ベッドサイドを科学する〔改訂第3版〕」学研メディカル秀潤社 2018

## 【推薦参考図書】

中野正博著「看護・医療技術者のためのたのしい物理」日本理工出版会 1990

前田昌信著「看護にいかす物理学（第3版）」医学書院 1989

## 【その他】

高等学校までの履修等に依らず、誰もが興味を持てるように配慮する。

---

---

(前期) 1～4年次・選択

---

---

**【概要・目標】**

医療、看護を学ぶということは、ヒトという生命体と向き合いその心理や身体機能を理解するという他にない。ヒトの体は様々な組織で形成されており、さらに組織は細胞から、細胞はタンパク質や脂質などの分子から形成されている。即ち、ヒトの身体がどのように形成され機能しているのかを深く理解するためには、細胞、分子レベルでの生物学の知識が必要となってくる。

この講義では、細胞生物学、分子生物学の分野に力点をおきながら、生き物としてのヒトを理解するために必要な生物学の基礎知識を身につけることを目標とする。また、保健師助産師看護師国家試験の対策となるよう、可能な限り国試出題基準に含まれる「人体の構造と機能」の範囲に即した内容を講義する予定である。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 生物の基礎構造 ～化学進化と生命の誕生、生体を構成する有機物
- 2) 細胞の構造 ～原核生物と真核生物、細胞内小器官、細胞骨格
- 3) エネルギー産生と代謝 ～糖、脂質、アミノ酸の代謝
- 4) 細胞分裂 ～有糸分裂と減数分裂
- 5) 遺伝子とタンパク質 ～DNAの複製と転写、翻訳

高校レベル以上の内容も扱うが、上記内容に興味があれば高校時の生物履修は必要でない

---

**【評価】**

試験 (0%)、レポート (50%)、小テスト (0%)、発表 (0%)、提出物 (0%)、出席状況 (50%)、参加態度 (0%)、その他 (0%)

---

**【教科書】**

教科書は使わない。授業時に配付する資料と板書を元に授業を進める。

---

**【推薦参考図書】**

エッセンシャル細胞生物学 第4版 南江堂

---

**【その他】**

---

(後期) 1～4年次・選択

---

**【概要・目標】**

生命科学は近年急速に進展し、遺伝、成長、運動など様々な生命現象が分子のレベルで説明できるようになりつつあります。このことはヒトを対象とした医学の進歩にも大きく貢献してきました。本科目では、生命を支える遺伝子について何がわかっているか、何がわかっていないかを皆さんが理解し、現代の医療が抱える様々な問題について自ら考える際の助けになるよう、これまでに世界中で展開されてきた関連する研究の成果を簡潔にまとめ、系統的に整理して講義します。

**【授業内容・スケジュール】**

1. 生命は細胞と遺伝子に宿る
2. 遺伝子とメンデルの法則
3. 細胞の運命 (ES細胞とiPS細胞)
4. 遺伝子操作 I
5. 遺伝子操作 II
6. シグナル伝達 (生と死を分けるもの)
7. 遺伝子の複製
8. 遺伝子の発現
9. 遺伝子の変異と修復
10. 遺伝的多様性と疾患
11. がんと遺伝子
12. 免疫と遺伝子
13. 細菌とウイルス
14. 心と遺伝子
15. 遺伝子に関する最新のトピックス

**【評価】**

レポート (80%)、授業への参加態度 (20%)

**【教科書】**

毎時間配布する資料に沿って講義を進める。

**【推薦参考図書】**

- 「利己的な遺伝子」リチャード・ドーキンス著 紀伊國屋書店  
「生化学辞典」東京化学同人  
「医学大辞典」南山堂／電子版アリ

**【その他】**

質問は随時受け付ける。メールでの問い合わせは [hirais@wakayama-med.ac.jp](mailto:hirais@wakayama-med.ac.jp) まで。

---

---

**食の科学**

岡井 明美 非常勤講師

土井 有美子 非常勤講師

西出 充徳 非常勤講師

---

**(前期) 1～4年次・選択**

---

**【概要・目標】**

食生活は、人間の生きる糧であり、心を充たす食文化の世界でもある。健康増進法が制定された今、一次予防の中で大きな役割を占めるのは食のありようであり、また、食生活の歪みの中での疾病に対しては治療の直接手段ともなる。人体の組成と栄養素を理解し、なお、和歌山の食文化にもふれ、ライフスタイルおよび疾病治療のための食事について学生と共に考える。

---

**【授業内容・スケジュール】****(担当)**

- |                         |    |
|-------------------------|----|
| 1) 人体の組成と栄養素・糖質, 脂質     | 西出 |
| 2) 人体の組成と栄養素・たんぱく質      | 西出 |
| 3) 人体の組成と栄養素・ビタミン, ミネラル | 西出 |
| 4) 栄養素の消化吸収             | 西出 |
| 5) 食事摂取基準 (2020 年版)     | 土井 |
| 6) 栄養状態の評価              | 土井 |
| 7) ライフステージと栄養 ①成長期      | 土井 |
| 8) ライフステージと栄養 ②成人期      | 土井 |
| 9) ライフステージと栄養 ③高齢期、母性   | 土井 |
| 10) 栄養と疾病治療             | 岡井 |
| 11) 治療食の実際 ①消化器疾患       | 岡井 |
| 12) 治療食の実際 ②内分泌・代謝疾患    | 岡井 |
| 13) 治療食の実際 ③循環器疾患       | 岡井 |
| 14) 治療食の実際 ④腎疾患         | 岡井 |
| 15) 治療食の実際 ⑤貧血、食物アレルギー  | 岡井 |

---

**【評価】**

西出 30 点：試験 (10 点)、小テスト (20 点)

土井 30 点：試験 (80%)、授業への参加態度 (20%)

岡井 40 点：試験 (80%)、授業への参加態度 (20%)

---

**【教科書】**

脊山洋右・廣野治子「コンパクト栄養学」南江堂

---

**【推薦参考図書】**

中村美知子・長谷川恭子 編集「わかりやすい栄養学」廣川書店

小池五郎 代表 「人体の構造と機能〔3〕栄養学」医学書院

石渡和子・伊藤朗 「ライフステージからみた人間栄養学」医歯薬出版

平山宗宏 監修 「母子健康・栄養ハンドブック」医歯薬出版

---

**(後期) 1～4年次・選択**

---

**【概要・目標】**

人の一生は、乳幼児期から高齢期にいたるまでの各年齢層の栄養素等の特性がある。また、疾病を抱えている時期には、その病態に応じた栄養管理が必要になってくる。ライフサイクルおよび疾病の特性に応じた食事が継続的に摂取されて健康な生活を送ることが可能となり、治療効果も上がる。食事計画・献立作成を基本にデモンストレーションおよび調理実習を実施することにより、実践栄養学を習得する。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 演習についてのガイダンス
- 2) 妊産婦の食事
- 3) 離乳期の食事
- 4) 一般治療食（流動食と分かゆ食・高齢者の食事も含む）
- 5) エネルギーコントロール食（糖尿病の食事）
- 6) たんぱく質コントロール食（慢性腎臓病の食事）
- 7) 脂質コントロール食（脂質異常症の食事）

---

**【評価】**

筆記試験 50% 演習課題のレポート 40% 実習態度 10%

---

**【教科書】**

脊山洋右・廣野治子「コンパクト栄養学」南江堂  
適宜資料を配布する。

---

**【推薦参考図書】**

日本糖尿病学会 「糖尿病食事療法のための食品交換表」 文光堂  
黒川清 監修 「腎臓病食事交換表」 医歯薬出版  
玉川和子・他 編集 「臨床調理」 医歯薬出版  
平山宗宏 監修 「母子健康・栄養ハンドブック」 医歯薬出版  
香川芳子 監修 「七訂 食品成分表」 女子栄養大学出版部

---

**【その他】**

「食の科学」を履修した者に限る。

設備及び教育効果等の見地から、履修者は1班28名にて隔週ごとの2班56名に限る。

履修希望者多数の場合は、その選考方法は「食の科学」の出席状況等を勘案して、総合的に判断して決定することとするが、決定時期は9月となる予定であるので、履修登録においては、このことを考慮していただきたい。

---

---

**(後期) 1～4年次・選択**

---

---

**【概要・目標】**

本授業では、「運動の科学」で学習した内容をさらに発展させ、運動・スポーツによる身体的体力や健康の維持・増進方法について解説するとともに、各自の健康の維持・増進のための健康運動を実践します。また、日常の身体活動・運動を記録するとともに自身の身体活動量を評価し、自身の健康の維持・増進に必要な運動を科学的に分析するとともに、健康の維持・増進に効果的な運動・スポーツについて検討し、生涯にわたる健康運動プログラムを作成することを目標とします。

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) ガイダンス (授業の内容・進め方、エアロビクスダンス)
- 2) スポーツウェルネス (ドッジビー、アルティメット、キンボール・ボッチャ等)
- 3) 健康運動の実践1 (バドミントン、卓球、エアロビクスダンス等)
- 4) 健康運動の実践2 (バドミントン、卓球、エアロビクスダンス等)
- 5) 健康運動の実践3 (バドミントン、卓球、エアロビクスダンス等)
- 6) スポーツウェルネス (ドッジビー、アルティメット、キンボール・ボッチャ等)
- 7) 健康運動の実践4 (バドミントン、卓球、エアロビクスダンス等)
- 8) 健康運動の実践5 (バドミントン、卓球、エアロビクスダンス等)
- 9) 健康運動の実践6 (バドミントン、卓球、エアロビクスダンス等)
- 10) スポーツウェルネス (ドッジビー、アルティメット、キンボール・ボッチャ等)
- 11) 健康運動の実践7 (バドミントン、卓球、エアロビクスダンス等)
- 12) 健康運動の実践8 (バドミントン、卓球、エアロビクスダンス等)
- 13) 健康運動の実践9 (バドミントン、卓球、エアロビクスダンス等)
- 14) スポーツウェルネス (ドッジビー、アルティメット、キンボール・ボッチャ等)
- 15) まとめと評価

**【評価】**

試験 (0%)、レポート (20%)、小テスト (0%)、発表 (0%)、提出物 (40%)、出席状況 (20%)、参加態度 (20%)、その他 (0%)

**【教科書】**

使用しません。必要に応じて資料を配布します。

**【推薦参考図書】**

参考資料：健康づくりのための運動指針 2013

**【その他】**

動きやすい服装 (できれば中学校・高等学校の体操服)、シューズで参加して下さい。

---

---

英会話

エドワード カラギアニス 非常勤講師  
トレーシー ヤマモト 非常勤講師

(通年) 1～4年次・選択

---

**【概要・目標】**

中学、高校で修得した英語の文法・構造を向上させ、英語表現能力を身につけ、自ら英語を話すことに重点を置く。

---

**【授業内容のスケジュール】**

よく使われる英語表現や日常会話をテキストで学習し、二人もしくはグループで会話練習をします。イラストを見て想像力を働かせ、英文を考えることもあります。文章を作る事は上達と進歩の大きい役割を果たします。

お互いに質問するページでは、日本人が弱点とする文法に重点を置き、自分で表現する能力向上及び英語に自信がつくこととなります。

受動態、使役動詞、関係代名詞、現在分詞/過去分詞などの文法の復習をし、これらの表現を会話練習出来るゲームやビデオを使った学習を行います。

病気の表現、病院での会話を学習します。

---

**【評価】**

試験 (40%)、レポート (0%)、小テスト (60%)、発表 (0%)、提出物 (0%)、出席状況 (0%)、参加態度 (0%)、その他 (0%)

---

**【教科書】**

Clip Art English A Straightforward Approach Second Edition  
Challenge Book #4 Helene Jarmol Uchida

---

**【推薦参考図書】**

---

**【その他】**

復習は大切なので、復習するように心掛けて下さい。

また、教育効果等の見地から、履修者は40名までとします。履修希望者多数の場合は、抽選により決定しますので、このことを踏まえたうえで履修登録を行ってください。

---

**(前期) 1～4年次・選択**

---

**【概要・目標】**

トーマス・ブルフィンチの『ギリシア・ローマの神話』を読みます。

ギリシア・ローマの神話は、西欧の文化に多大な影響を及ぼしました。それは、時代を超えて、文学のみならず美術や音楽を含めたあらゆる芸術の分野にひろがっています。また、神話の根底にある精神は、ヨーロッパという特定の地域に限られるものではなく、すべての人類が共有しているのです。現代のわたしたちも、どこかで見たり聴いたりしたことのある物語ばかりでしょう。このような知識を持つておくと、西欧の小説や絵画だけではなく、日常生活で触れる現代小説やテレビドラマでさえ、鑑賞の仕方が大きく変わることでしょう。

また、身体部位や病気の名前は、その多くが古代ギリシア語やラテン語に由来します。医療の分野を学ばれている皆さんが、英語からでもその一端に触れることは、今後の学習を容易にすることでしょう。

この授業では、英文を正確に読解することを目的としています。授業では和訳をおこないますが、それが最終目標ではありません。単語・文法・構文・文脈のそれぞれがきちんと把握できているかを確認しながら、英語を英語として理解するための練習をおこないます。日本語を経由することなく英文を理解できるようになれば、英語を書いたり話したりするときにも大きな力となります。英文を「前から」理解できるようになれば、おのずと読解の速度もあがってくることでしょう。授業は、基本的な文法事項を確認しながらすすめますので、英語の得意不得意は関係ありません。今後、みなさんがネットニュースを読んだり洋書を楽しんだり、英語から情報を直にインプットするための一つのステップとなることを期待しています。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) イントロダクション (履修に当たっての注意点や授業の進め方などについて説明します)
- 2) ～14) 読解
- 15) 授業のまとめと解説

---

**【評価】**

試験 (60%)、レポート (0%)、小テスト (0%)、発表 (30%)、提出物 (0%)、  
出席状況 (0%)、参加態度 (10%)、その他 (0%)

---

**【教科書】**

---

**【推薦参考図書】**

Thomas Bulfinch 『ギリシア・ローマの神話』開文社出版 (ISBN : 9784875712565)

西村賀子 『ギリシア神話 神々と英雄に出会う』中公新書 (ISBN : 9784121017987)

---

**【その他】**

受講者には、授業の予習と復習が求められます。

初回の授業時に、授業の進め方や成績評価について説明しますので、かならず出席してください。



---

(通年) 1～4年次・選択

---

**【概要・目標】**

中国の人々が使用する標準的な中国語（普通語）を聞き、話し、読み、書く能力を総合的に高めることを目指した授業を進める。総じて体系的で平易な説明を心がけ、仕事場や交際の場で必要とされる言葉の発音と運用に重点を置いた双方向的、全員参加型の授業を実施する。また、中国語の学習を通して、中国の人々の考え方や中国の文化、習慣・社会に対する理解を深める。特に学部の特徴を考えて、患者さんとの対話がすぐ出来るように、実践的な会話練習を勉強し、日常的な身の回りの事柄についても中国語で表現出来るようにする。下記のプランは基本的なプランであって、上記の内容を授業に繰り込んで行います。

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) ～3) 中国式ローマ字 (ピンイン) 声調、音節のしくみ、母音、子音、あいさつ
- 4) ～6) 動詞「是」、人称代名詞、名前の言い方・尋ね方、実践会話
- 7) ～9) 動詞述語文、疑問文いろいろ、助動詞「想」、連動文、作文練習
- 10) ～12) 量詞、動詞「有」、数字の言い方、助詞「过」、形容詞述語文、実践会話
- 13) ～15) 動詞「在」、方位詞、前置詞「从」「往」「离」、文末の「了」、医療用語
- 16) ～18) 年月日・曜日・時刻・時間の言い方、年齢の言い方・尋ね方、実践会話
- 19) ～21) 時間量の言い方、動詞直後の「了」、比較の言い方、実践会話
- 22) ～24) 可能の表現、方向補語、結果補語、主述述語文、作文練習
- 25) ～27) 二重目的語、様態補語、可能補語、程度補語、医療用語、実践会話
- 28) ～30) 進行表現と持続表現、「是～的」構文、使役表現、存現文、受身表現

**【評価】**

筆記試験

**【教科書】**

陳淑梅・劉光赤 著 「わくわくスタディ 実学実用 (初級中国語)」 朝日出版社  
必要に応じて、資料を配布する

**【推薦参考図書】**

適宜、紹介する

**【その他】**

メールアドレス nakao@wixas.or.jp

---

(後期) 1～4年次・選択

---

**【概要・目標】**

[医療情報学入門]

2025年問題の克服のため、我が国の医療は「病院完結型医療」から「地域完結型医療」に大きく変貌を遂げようとしている。それに合わせて、医療分野における情報技術の適用範囲も大きく広がっている。本講義では、情報科学の基礎と医療・看護・介護・健康で利用される情報学のトピックスを幅広く取り上げることにより、医療における情報科学の重要性を理解することを目的とする。医療・看護・介護・健康における情報の意味を知り、情報科学が現代の医療・看護に与えた変化と果たしている役割を理解する。

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 医療情報学概説・情報科学(1): 医療情報学概説、はじめに～情報とは～
- 2) 情報科学(2): 情報科学の基礎理論
- 3) 情報科学(3): ハードウェア、ソフトウェア(表計算ソフト、データベース、他)
- 4) 情報科学(4): ネットワーク、インターネット、セキュリティ
- 5) 情報科学(5): SNSセキュリティ
- 6) 情報科学(6): システム開発、プロジェクトマネジメント
- 7) 情報科学(7): 著作権、論文の書き方
- 8) 診療情報学(1): 病院情報システム、医療の標準化
- 9) 診療情報学(2): 医療の個人情報保護
- 10) 診療情報学(3): 遠隔医療、地域医療連携、地域包括ケア
- 11) 診療情報学(4): パーソナルヘルスレコード(PHR)
- 12) 生物情報学: ゲノム医療、クリニカルシーケンス、バイオバンク
- 13) 臨床研究情報学(1): 臨床研究IT入門
- 14) 臨床研究情報学(2): 臨床研究の信頼性保証
- 15) 臨床研究情報学(3): 医療ビッグデータ

(内容・順序は変更することがあります)

**【評価】**

講義時間中のレポート(40%) および筆記試験(60%)

**【教科書】**

なし

**【推薦参考図書】**

- (1) 日本医療情報学会 編: 医療情報 第5版 -医療情報システム編-, 篠原出版新社
  - (2) 上泉和子, 太田勝正 編: 看護情報管理論, 日本看護協会出版会
- その他講義中に随時紹介する。

**【その他】**

e-mail: kyamamo@wakayama-med.ac.jp

---

---

**(前期) 1～4年次・選択**

---

---

**【概要・目標】**

音楽を中心とする様々な芸術と触れあうことにより、感受性や創造力を培い、心豊かな人間性を養う。同時に、それらの諸芸術を生み出した様々な民族の歴史や文化を知ることにより、幅広い国際理解に努める。それらを基礎として、卒業後様々な世代の患者さんと、芸術（音楽）の話題を通じて心の交流ができるようになることを目指して講義を進めていきたい。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 音楽療法の可能性1：音楽運動療法
- 2) 音楽療法の可能性2：癒しと音楽～大脳辺縁系に与える音楽の作用
- 3) 音楽療法の可能性3：緩和ケア病棟と音楽
- 4) 音楽療法の可能性4：ホスピスの歴史と現状
- 5) 聴覚と音楽1：増加している若年世代の難聴
- 6) 聴覚と音楽2：日本人の耳、欧米人の耳
- 7) 喉頭と音楽：様々な発声法と生活環境の関連
- 8) 運動と音楽：様々なリズム感と生活様式の関連
- 9) 西洋音楽史を1年に縮めたら：あなたも90分でクラシック音楽がわかる
- 10) 声楽入門：西洋音楽史における様々な美しい声楽曲を訪ねて
- 11) 器楽入門：ロマン派・印象派のピアノ名曲の流れを訪ねて
- 12) J-Popに見る日本人の音楽的感性
- 13) 明治以降の音楽：各世代の患者さんはどのような音楽を聴いてきたか
- 14) まとめ

---

**【評価】**

試験（0%）、レポート（55%）、小テスト（25%）、発表（0%）、提出物（0%）、出席状況（10%）、参加態度（10%）、その他（0%）

---

**【教科書】**

適宜資料を配布する

---

**【推薦参考図書】**

- 田村恵子『余命18日をどう生きるか』朝日新聞出版、2010  
岩田誠『脳と音楽』メディカルレビュー社、2001  
田村和紀夫『徹底図解 クラシック音楽の世界』新星出版社、2012

---

**【その他】**

E-mail izumi@center.wakayama-u.ac.jp

---

---

**医療入門：ケア・マインド教育**

柳 川 敏 彦 教授  
山 口 雅 子 教授  
水 越 正 人 教授  
村 田 顕 也 教授\*  
竹 山 重 光 准教授\*

(通年) 1～4年次・選択

---

---

**【概要・目標】**

医療人を志すものとして知識・技能の習得のみならず、病める人の視点で考えられる人間形成を目指す。また、行政・司法を含めた社会制度について知ることにより、個々の患者の社会的背景、支援の状況についての理解を深める。本講義は、医学部・保健看護学部の共通講義として行い、立場の異なる医療人を志すものとして相互理解を深める。

---

**【授業内容・スケジュール】**

〈個別的教育目標〉

- 1 医療において病める人の視点で考えることの重要性について述べることができる。
- 2 チーム医療、多職種連携の状況、重要性について述べるができる。
- 3 患者個人として疾患の受け取り方、対応の仕方に多様性があることを説明できる。
- 4 疾病の罹患に伴う精神的、経済的、社会的負担を体験を通して説明できる。
- 5 疾患の対応、支援について多くの職種が関わっていることを述べるができる。
- 6 患者のみでなく、患者の家族への対応、支援の方法について述べるができる。
- 7 疾患について、医療的な支援の状況と限界について述べるができる。
- 8 疾患について、行政からの支援の状況について述べるができる。
- 9 疾患について、地域社会からの支援について述べるができる。
- 10 薬害について理解し、支援について述べるができる。
- 11 地域・僻地医療の現場での取り組みについて説明できる。
- 12 医療行政を含め地方行政の仕組みについて述べるができる。

〈講義項目と担当者〉

本年度の講師については、患者および患者の会、福祉行政、司法、地域医療の実務者をお願いする予定である。詳しい内容については別途明らかにする。

〈学習及び教育方法〉

- 1 講義および患者さんまたは家族の会による体験談。
  - 2 WG では学生をグループに分け、それぞれのテーマを自己学習し、発表、討論を行う。
  - 3 最終日には発表会を行う（テーマは別途明らかにする）。
- 

**【評価】**

授業への出席および授業態度（20%）、WG のレポート（70%）、最終発表（10%）により評価する。

---

**【教科書】**

特になし

---

**【推薦参考図書】**

特になし

---

---

(通年) 1～4年次・選択

---

**【概要・目標】**

(概要)

大学・学部が実施する国際交流活動に参加することで、現地学生あるいは留学生との交流を通して、その国の看護系学生の状況や医療について知り、自分たちの状況や日本の医療、さらには国際保健について考えることを目的とする。

(目標)

- 1) 現地学生あるいは留学生と交流することで、国際的なコミュニケーションに対する関心と能力を深める。
- 2) 海外における医療に関する幅広い知識を得るとともに理解を深める。
- 3) 日本における医療や国際保健について関心を高め、理解を深める。

---

**【授業内容のスケジュール】**

大学・学部が実施する国際交流活動に参加し、ポイントを加算していく。1ポイント当たり概ね2時間程度の活動を原則とする。入学から卒業までの間に、通算して20ポイントを超えるポイント数を得た場合に、単位を認定する。

主な活動内容とポイントは以下のとおりとする。

- ・海外施設の訪問や海外における活動への参加（5日間の場合、20ポイント）
- ・留学生の訪問活動（文化視察など）への参加（概ね2時間につき、1ポイント）
- ・留学生との交流活動（自治会主催の歓迎会など）への参加（準備時間を含め、概ね2時間につき、1ポイント）

---

**【評価】**

参加状況・活動報告書の提出

---

**【教科書】**

---

**【推薦参考図書】**

---

**【その他】**

活動参加の際は、必ず、事前に活動参加申出書を提出し、終了後に活動報告書を提出すること。参加申出書及び活動報告書の提出がない場合、原則として、活動に参加してもポイント認定がされない。留意すること。

---

---

**(通年) 1～4年次・選択**

---

---

**【概要・目標】****(概要)**

地域の人々との交流を通して、地域の特性から住民の生活状態や健康問題を理解し、医療に対する住民のニーズを把握することを目的とする。ボランティア活動や本学独自の助成制度である「学生自主カリキュラム」の活動など、自主的な計画・活動・報告を実践することから、チームワーク力や行動力を修得する。

1～4年次の課外活動から、地域住民の健康状態を把握し、健康管理や疾病予防について地域貢献への姿勢を修得する。

---

**【授業内容のスケジュール】**

大学・学部が認定する地域交流活動に参加し、ポイントを加算していく。1ポイント当たり概ね2時間程度の活動を原則とする。入学から卒業までの間に、通算して20ポイントを超えるポイント数を得た場合に、単位を認定する。

平成30年度にポイントの対象となった活動は以下のとおり。

「オープンキャンパス」、「看護学生フォーラム活動」、「和歌山市精神障害者ボウリング交流大会  
「和歌山つぼみの会サマーキャンプ」、「輝け！病気の子どもたちリゾートキャンプ」、「花園地区  
梁瀬小学校運動会・梁瀬地区秋祭り」、「しょうがいのある子どもと家族のためのファミリーコンサート」、「バリアフリー映画上映会」、「近畿周産期精神保健研究会」、「ねんりんピック」、「障害児者家族のつながりを広める文化祭」

---

**【評価】**

参加状況・活動報告書の提出

---

**【教科書】**

なし

---

**【推薦参考図書】**

なし

---

**【その他】**

活動参加の際は、必ず、事前に活動参加申出書を提出し、終了後に活動報告書を提出すること。

参加申出書及び活動報告書の提出がない場合、原則として、活動に参加してもポイント認定がされないの、留意すること。